

I 農作物病害虫・雑草防除基準活用上留意する事項

病害虫や雑草の防除は、排水対策、伝染源植物の除去等により病害虫の発生しにくいまほ場環境を整え（予防的措置）、病害虫発生予察情報等の活用により地域の発生消長等の的確な把握に基づき（判断）、品種の選定、作型、輪作、施肥等の耕種的方法と、生物的防除（天敵等）、物理的防除（粘着板等）又は化学的防除（化学合成農薬）による防除方法を組合せて総合的に推進すること（総合的病害虫・雑草管理：総合防除、IPM）によって、その目的が効率的に達成できる。

本書は、これらの事項を前提に主に農薬による防除について農薬取締法等の規定に準拠するとともに、県の試験研究機関等によって「普及に移す農業技術」とされた農薬・技術に、検討を加えて設定したもの（登録農薬すべてを掲載していない）である。

したがって、本防除基準を活用するに当たっては、農薬使用基準の遵守、農薬の安全使用の確保及び体系的な防除の実施等に特に留意し、総合的病害虫・雑草管理の推進に基づく農作物の安定生産が図られるよう努める。

1 防除基準の活用と農薬の適正使用

- (1) 病害虫防除は、効率の高い防除計画に基づいた上で、病害虫発生予察情報の活用により、発生状況に応じて防除の要否やタイミングを判断し、実施する。
- (2) 農薬使用基準（適用作物、使用濃度（量）、使用時期、使用回数）は、農薬登録内容に基づき設定しているので遵守する。なお、農薬を使用する際は農薬ラベルを確認するとともに、使用上の注意事項に留意し、農薬使用者の責任において使用する。

適用作物は、次項資料「農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法に係る適用農作物等の名称について」で含まれる作物の範囲を確認してから農薬を使用する。

また、本防除基準には食用とする花き（きく、ばら等）に関する記載はない。

「食用とする花き」（野菜類分類）に農薬を使用する場合には、農薬ラベルに「食用ぎく」などの記載のある農薬を適正に使用する。

- (3) 使用農薬の特性、使用方法、注意事項等について、ラベルを読んで確認し、適正に使用する。なお、使用時期の「収穫前日まで」とは、原則として収穫の24時間前までを言う。
- (4) 水田外への農薬流出防止を図るため、水田への農薬散布後、少なくとも7日間は落水・かけ流しをしない。
- (5) 本防除基準に掲載している農薬は、効果と安全性に留意して選定してあるが、使用時の危被害防止に十分配意する。
- (6) 農作物の薬害は、作物（品種）、栽培法、調合法、散布法、気象条件等によって発生の差が大きいので注意する。
- (7) 本防除基準は、地域性を生かした防除暦作成等の資料として活用する。
- (8) 各作物に掲載されている農薬の適用一覧表における（－）又は（－）（適用なし）は、両者とも設定されていないことを示す。
- (9) 農薬使用基準は令和7年11月30日現在の農薬登録内容による。
- (10) 銘柄名・有効成分・成分量が同一であっても、商品によって登録内容が異なる場合があるので、ラベルを確認し使用する。

■ 農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法に係る適用農作物等の名称について(令和6年4月1日最終改正)

「農薬の登録申請において提出すべき資料について」（平成26年5月15日付け26消安第537号農林水産省消費・安全局長通知）、「農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法に係る適用農作物等の名称について」（平成31年3月29日付け30消安第6281号農林水産省消費・安全局農産安全管理課長通知）

表の使用に際しては以下の事項に留意してください。

注1 掲載されている作物名の中には、現在、農薬の適用作物には含まれてない作物を含みます。
なお、適用作物に含まれていない作物については、農薬登録時にその名称が変更される場合があります。

注2 品種名及び栽培条件（施設栽培等）等について省略している場合がありますが、農薬登録時に品種名又は栽培条件等の指定がある場合は、当該品種又は栽培条件等にのみ使用できるものです。

(表1)

適用農作物のうち食用又は飼料用に利用される農作物

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例	※食用及び家畜飼料の両方に利用される農作物	
					備考 (収穫部位等)	
果樹類	かんきつ	-	天草		果実を収穫するもの	
			アンコール			
			伊予柑			
			愛媛果試第28号	紅まどんな		
			大紅みかん			
			オレンジ	スイートオレンジ、バレンシアオレンジ		
			カーブチー			
			かぼす			
			カラ	カラマンダリン、南津海		
			河内晩柑			
			清見			
			きんかん	ニンポウキンカン、マルキンカン		
			グレープフルーツ			
			サガマンダリン			
			サマーフレッシュ			
			シークヮーサー			
			じやばら			
			不知火	デコポン		
			すだち			
			せとか			
			セミノール			
			タロガヨ			
			たんかん			
			長門ユズキチ			
			なつみかん	甘夏、なつだいだい		
			ネーブル	ワシントンネーブル		
			はっさく			
			はるか			
			はるみ			
			はれひめ			
			日向夏			
			フィンガーライム	キャビアライム、レモンキャビア		
			ぶんたん	ざぼん、ぼんたん、晩白柚、うちむらさき		
			平兵衛酢			
			ぽんかん			
			マーベット			
			みかん	温州みかん、紀州みかん		
			ゆず			
			ライム			
			レモン			
			ミカン (<i>Citrus</i>) 属、キンカン (<i>Fortunella</i>) 属、カラタチ (<i>Poncirus</i>) 属又はこれらの交配種で、概ね偏球形、球形又は卵形の果実を収穫するものは、これらの作物群に含まれる。			
仁果類	-	-	かりん		果実を収穫するもの	
			なし	日本なし、西洋なし、中国なし		
			びわ			
			マルメロ			
			りんご			
核果類	もも類	-	もも		果実を収穫するもの	
			ネクタリン			
	小粒核果類	-	あんず	アプリコット	果実を収穫するもの	
			うめ			
			すもも	プラム、ブルーン		
			作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。			
		おうとう	さくらんぼ		果実を収穫するもの	

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、 地方名、品種名等の例	備考 (収穫部位等)
果樹類	ベリー類等の 小粒果実類	—	ぶどう	小粒種ぶどう（デラウェア、シラガブドウ、やまぶどう）、大粒種ぶどう（巨峰系4倍体品種、2倍体米国系品種、2倍体欧洲系品種、3倍体品種他）注1)	果実を収穫するもの
	ベリー類	アロニア	チョコベリー		果実を収穫するもの
		がますみ	ジョミ		
		ぐみ	アキグミ、ダイオウグミ、トウグミ、ナツグミ		
		シーベリー	サジー、サーティ、スナヂグ		
		食用桑（果実）	カラグワ、ヤマグワ		
		すぐり	グースベリー		
		ハスカップ	クロミノウグイスカグラ		
		ふさすぐり	カーランツ、カラント、カランツ、アカフサスグリ、クロフサスグリ、カシス		
		ブラックベリー			
		ブルーベリー			
		ボイセンベリー			
		やまもも			
		ラズベリー			
	—	アーモンド			仁を収穫するもの
	—	あけび（果実）			果実を収穫するもの
	—	アセロラ			
	—	アテモヤ			
	—	アボカド			
	—	いちじく			
	—	いちょう（種子）	ギンナン		種子を収穫するもの
	—	インドナツメ	イヌナツメ		果実を収穫するもの
	—	オリーブ			
	—	カカオ			種子を収穫するもの
	—	かき			果実を収穫するもの
	—	カニステル	エッグフルーツ、クダモノタマゴ		
	—	キウифルーツ			
	—	グアバ（果実）	バンジロウ、バンザクロ		
	—	くり			種子を収穫するもの
	—	くるみ			
	—	コーヒーノキ			
	—	ゴレンシ	スターフルーツ		果実を収穫するもの
	—	ざくろ			
	—	サボジラ			
	—	さるなし	こくわ、香粹		
	—	さんしょう（果実）			
	—	ジャボチカバ			
	—	食用つばき（種子）			種子を収穫するもの
	—	ストロベリーグアバ			果実を収穫するもの
	—	チェリモヤ			
	—	なつめ			
	—	パインアップル			
	—	パッションフルーツ	くだものとけいそう		
	—	バナナ			
	—	パパイヤ	青パパイヤ		果実を収穫するもの 完熟していないものを含む
	—	はまなす（果実）			果実を収穫するもの
	—	パンレイシ	シャカトウ、アテス、シュガーアップル		
	—	ピタヤ	ホワイトピタヤ、レッドピタヤ、ゴールデンピタヤ、ドラゴンフルーツ		
	—	ピタンガ	タチバナアデク、スリナムチェリー、ブラジルチェリー		
	—	フェイジョア	パイナップルグアバ		
	—	ペカン			種子を収穫するもの
	—	ペピーノ			果実を収穫するもの
	—	ポポー	アケビガキ		
	—	ホワイトサボテ			
	—	マンゴー			
	—	ミラクルフルーツ			
	—	むべ			
	—	やえやまあおき	ノニ		
	—	リュウガン	ロンガン、竜眼		
	—	レイシ	ライチ		
	—	レンブ	ジャワフトモモ		
野菜類	いも類	—	アメリカホドイモ	アピオス	塊根を収穫するもの
			かんしょ	さつまいも、シモンいも	

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例	備考(収穫部位等)
野菜類	いも類	-	きくいも	ブタイモ	塊茎を収穫するもの
			キヤッサバ		
			こんにゃく		
			さといも	えびいも、たけのこいも、やつがしら、セレベス	
			ちよろぎ		
			はすいも(塊茎)		
			ばれいしょ	じやがいも	
			みずいも	田いも	
			ヤーコン		
			やまのいも	やまといも、自然薯、丸いも、ながいも、とっくりいも、いせいも、いちょういも、つくねいも、だいじょ	
根菜類	根菜類	-	うこん	秋ウコン、キヨウオウ、春ウコン	根茎を収穫するもの
			かえんさい	デトロイトダークレッド、レッドビート、ガーデンビート	根を収穫するもの
			かのこそう	ハルオミナエシ	根茎及び根を収穫するもの
			かぶ	赤かぶ、赤菜、温海かぶ、稻核菜、大かぶ、鬼首菜、源助カブナ、こかぶ、小牛田菜、聖護院かぶ、清内路あかね、酢茎菜(すぐしな)、長禅寺菜、津田かぶ、天王寺かぶ、鳴沢菜、羽広菜、ひのなかぶ(日野菜)、福島菜、紅かぶ、ゆるぎかぶ(万木かぶ)	茎葉及び根を収穫するもの
			甘草	ウラルカンゾウ、スペインカンゾウ	根及びストロンを収穫するものの
			ごぼう		根を収穫するもの
			しょうが	根しょうが	根茎を収穫するもの
			葉しょうが	やなかしようが、はじかみしようが、筆ショウガ	生葉のついたままの若い根茎を収穫するもの
			食用あまどころ		根茎を収穫するもの
			食用ききょう(根)		根を収穫するもの
			西洋ごぼう	サルシファイ、バラモンジン、サルシフィー	
			セルリアック	根セロリ、根セルリ	
			だいこん	葉だいこん、だいこんな	茎葉及び根を収穫するもの
			チコリ(根株)	キクニガナ	根を収穫するもの
			てんさい※	サトウダイコン	根を採糖目的に収穫するもの
			にんじん	金時にんじん、西洋にんじん、島にんじん	根を収穫するもの
			にんじん(葉)	葉にんじん	比較的若い葉を根とともに収穫するもの
			パースニップ		根を収穫するもの
			はつかだいこん	廿日大根、ラディッシュ、二十日大根	茎葉及び根を収穫するもの
鱗茎類	鱗茎類(根物)	たまねぎ	紫うこん	ガジュツ	根茎を収穫するもの
			もりあざみ	やまごぼう、ごぼうあざみ	根を収穫するもの
			薬用にんじん	おたねにんじん、チョウセソニンジン、コウライインジン	
			わさびだいこん	ホースラディッシュ、西洋わさび	
		葉たまねぎ	たまねぎ		鱗茎を収穫するもの
			葉たまねぎ	葉玉葱	たまねぎの比較的若い段階(鱗茎が太り始める頃)の葉及び鱗茎を収穫するもの
			食用ゆり	ゆりね	鱗茎を収穫するもの
			にんにく	ジャンボニンニク、エレファントガーリック、グレートヘッドガーリック	
		葉にんにく	葉にんにく		にんにくの比較的若い段階の葉及び鱗茎を収穫するもの

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例	備考(収穫部位等)
野菜類	鱗茎類	鱗茎類(根物)	のびる		葉及び鱗茎を収穫するもの
			ベルギーエシャロット	シャロット	鱗茎を収穫するもの
			らっきょう	らっきょう(エシャレット栽培)、らっきょう(エシャロット栽培)	
		鱗茎類(葉物)	あさつき	イトネギ、センボンワケギ	葉及び鱗茎を収穫するもの
			ぎょうじやにんにく		
			チャイブ	エゾネギ、セイヨウアサツキ、シブレット	葉を収穫するもの
			にら	黄にら	
			にら(花茎)	花にら	花蕾及び花茎を収穫するもの
			にんにく(花茎)		花茎を収穫するもの
			ねぎ	九条ねぎ、加賀太ねぎ、千住ねぎ、やぐらねぎ、下仁田ねぎ、リーキ、わけねぎ	茎葉を収穫するもの
			わけぎ		葉及び鱗茎を収穫するもの
			作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。		葉及び鱗茎を収穫するもの
		豆類(種実)	あづき	大納言	成熟した種子を収穫するもの
			いんげんまめ	いんげん、きんときまめ、とらまめ、うずらまめ	
			えんどうまめ		
			ささげ		
			そらまめ		
			だいず※		
			なたまめ		
			ふじまめ	千石豆、カガツルマメ、ツルマメ	
			べにばないんげん	はなまめ	
			らっかせい	なんきんまめ、ピーナッツ	
	豆類(未成熟)	—	えだまめ		未成熟なさや付き豆を収穫するもの
			さやいんげん	ヒラザヤインゲン、モロッコインゲン	
			さやえんどう	きぬさやえんどう、スナックえんどう、砂糖えんどう、スナップエンドウ	
		—	実えんどう	うすいえんどう、グリーンピース	未成熟な種子(さや付で収穫されるものを含む)を収穫するもの
			未成熟ささげ	十六ささげ、あきしまささげ	未成熟なさや付き豆を収穫するもの
		—	未成熟しかくまめ	ウリズン、トウサイ	未成熟な種子(さや付で収穫されるものを含む)を収穫するもの
			未成熟そらまめ		
			未成熟なたまめ		
		—	未成熟ふじまめ	未成熟千石豆、未成熟カガツルマメ、未成熟ツルマメ	未成熟なさや付き豆を収穫するもの
			赤毛ウリ	モーウィ	果実を収穫するもの
うり類	うり類(未成熟)	エホバク	エホバク	韓国カボチャ	
			きゅうり	乙事赤うり	
			きゅうり(花)	花丸きゅうり	きゅうりの雌花を収穫するもの
		食用ひょうたん	食用ひょうたん		果実を収穫するもの
			食用へちま		
		しろうり	しろうり	あおうり、カリモリ、はぐらうり、青しまうり、くろうり、桂うり	果実を収穫するもの
			ズッキーニ		
			ズッキーニ(花)	花ズッキーニ	
		とうがん	とうがん	かもうり、冬瓜	花を収穫するもの
			にがうり	つるれいし	
			はやとうり		
		ゆうがお	ゆうがお	かんぴょう	果実を収穫するもの
			かぼちゃ	日本かぼちゃ、西洋かぼちゃ、ペボかぼちゃ(ズッキーニを除く)	
		すいか			成熟した果実を収穫するもの

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例	備考(収穫部位等)
野菜類	うり類	うり類(成熟)	漬物用すいか	源吾兵衛西瓜	未成熟な果実を収穫するもの
			ツノニガウリ	キワノ	成熟した果実を収穫するもの
			まくわうり	菊メロン、銀泉、金太郎、金俵、タイガーメロン、ニューメロン、悠紀メロン	
			漬物用まくわうり	べっちゃんうり	未成熟な果実を収穫するもの
			メロン	アルスマロン、アムスマロン、アンデスマロン、エリザベスマロン、キンショウメロン、キンショーメロン、クインシーメロン、タカミメロン、ハニーデュームロン、パパイヤメロン、プリンスマロン、ハミウリ	成熟した果実を収穫するもの
			漬物用メロン		未成熟な果実を収穫するもの
			しょくようほおづき	ゴールデンベリー、トマティロ、グランドチェリー	果実を収穫するもの
			トマト		果実を収穫するもの 直径3cm以下のものは含まない
			ミニトマト		果実を収穫するもの 直径3cm以下のもの
			なす		果実を収穫するもの
なす科果菜類	ピーマン及びとうがらし類	甘長とうがらし	甘長とうがらし	伏見とうがらし、万願寺とうがらし、三宝とうがらし、ひもとうがらし	果実を収穫するもの 未成熟の状態で利用する甘味種
			かぐらなんばん		果実を収穫するもの
			きだちとうがらし		
			ししどう	ししどうがらし、獅子唐、葵ししどう	
			とうがらし	鷹の爪、八房、日光とうがらし、札幌大長とうがらし	果実を収穫するもの 未成熟の状態で、あるいは完熟させて利用する辛味種
			ハバネロ		果実を収穫するもの
			ピーマン	大獅子、カリフォルニアワンドー、カラーピーマン、オランダパプリカ	
			ピカンテ		
			はなやさい類	カリフラワー	
あぶらな科野菜(花蕾及び茎)	あぶらな科野菜(花蕾及び茎)	あぶらな科野菜(花蕾及び茎)	はなやさい	はなやさい、さんごしょう、ロマネスコ、カリフローレ	花蕾及び花茎を収穫するもの
			茎ブロッコリー	ステイックセニョール	
			ブロッコリー		
			作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。		
			コールラビ	球茎カンラン、蕪キャベツ	肥大した茎を収穫するもの
			ザーサイ	茎タカナ、海野(肥大茎)、四川搾菜(肥大茎)	
			あざみな	チリメンカラシ、ハゴロモカラシナ	茎葉(花茎が伸びた前のものの)を収穫するもの
			あじみな	味美菜	
			あぶらな	仙台芭蕉菜、はたけな(畑菜)、姫路若菜、やまとまな(大和真菜)	
			飯田冬菜		
			潮江菜		
			海野(茎葉)		
			大高菜		
			大山そだち		
			カーポロネロ	黒キャベツ	
			かぶな	木曽菜、なかじまな(中島菜)	
			かほくな	河北菜	

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例	備考 (収穫部位等)
野菜類	葉菜類	非結球あぶら な科葉菜類	からしな ケール ケールッコラ こまつな さがみグリーン さぬきな 四川搾菜（茎葉） 千宝菜 タアサイ 体中菜 たかな 食べて菜 チンゲンサイ チンゲンルッコラ てごろ菜 なずな なばな類 のざわな パクチョイ	黄からしな、葉からしな、やましおな、レッドアジアンマスター、グリーンマスター、セリフォン ハゴロモカンラン、リョクヨウカンラン 小松菜 たけのこたかな 千宝菜1号（せんぼうさい1号）、千宝菜2号（せんぼうさい2号） 仙台雪菜、タアサイ（ターサイ、ターツァイ、如月菜、きさらぎな、瓢菜、ひさごな、縮み菜、ちぢみな） ハオチイ菜 高菜、かつおな、せいさい、山形青菜、三池たかな 青梗菜 なばな（なばな類） あさまこな（朝熊小菜）、あすっこ、アレッタ、おおさきな（大崎菜、芹田菜）、太田かぶ（やる菜）、オータムポエム（アスパラ菜、愛味菜）、大月菜、大野菜、かいらん、かきな（かき菜、宮内菜、宮崎菜、CO菜、川流れ菜、五月菜、芯切菜）、勝山水菜（平泉寺水菜、郡水菜、さんまい水菜、北市水菜）、くきたちな（会津茎立菜、カブレ菜、縮緬茎立菜）、ケールッコラ（なばな類栽培）、こうさいたい（紅菜苔）、こまつな（なばな栽培）、さいしん（菜芯、油菜芯）、三景雪菜、四川児菜（子持たかな、祝薔）、たべたい菜、チーマデラーパ、チンゲンサイ（なばな栽培）、チングエンルッコラ（なばな栽培）、摘菜花、つぼみな（つぼみ菜、三陸つぼみ菜、あでやかつぼみ菜）、なばな（なのはな、はなな）、のらぼうな（のらぼう菜）、博多薺菜、はくさい（なばな栽培）（ふくたち）、はたけな（畠菜）（なばな栽培）、はなつこりー、みずかけな（水掛け菜）、めいけな（女池菜、新潟なばな、角田冬菜、新潟小松菜） 野沢菜	茎葉（花茎がのびだす前のもの）を収穫するもの 茎葉を収穫するもの 春の七草の一種 茎葉及び花蕾を収穫するもの 茎葉（花茎がのびだす前のもの）を収穫するもの

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例	備考(収穫部位等)
野菜類	葉菜類	非結球あぶらな科葉菜類	畑わさび	おかわさび	葉、花茎、根茎及び根を収穫するもの 畑地で栽培されるもの
			畑わさび（根茎）	おかわさび	根茎を収穫するもの。 畑地で栽培されるもの。
			畑わさび（葉）	葉わさび	葉を収穫するもの。 畑地で栽培されるもの。
			非結球はくさい	小倉はくさい菜、さんとうさい（山東菜、べかな、非結球はくさい、半結球はくさい、いがむらさき）、しろな（大阪しろな、なにわ菜、京の里しろな、いなみ菜）、たいさい（体菜、たいな、雪白体菜、二貫目体菜、しゃくし菜、長岡菜、下北春まな）、長崎はくさい（長崎白菜、唐人菜、唐菜）、博多白菜、ひこしまはるな（彦島春菜）、ビタミン菜、ひろしまな（広島菜）、優愛菜	茎葉（花茎がのびだす前のもの）を収穫するもの
			非結球メキャベツ	プチヴェール、ミニベール	茎葉及び脇芽を収穫するもの
			べんり菜		茎葉（花茎がのびだす前のもの）を収穫するもの
			みずな	みずな（京菜、水菜、京水菜）、みぶな（壬生菜）	
			餅菜	正月菜	
			山形みどりな		
			ラファノブラシカ		茎葉及び花蕾を収穫するもの
			ルッコラ	ロケット、セルバチコ、ガルギール、エルーカ	茎葉（花茎がのびだす前のもの）を収穫するもの
			わさびな		
			作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。		茎葉（花茎がのびだす前のもの）又は茎葉及び花茎を収穫するもの
			Brassica rapa、B. oleracea、B. juncea又はこれらの交配種で、非結球の茎葉又は茎葉及び花蕾を収穫するものも含まれる（根菜類、結球あぶらな科葉菜類、はなやさい類及びあぶらな科茎野菜に含まれる作物は除く。）。		
		結球あぶらな科葉菜類	キャベツ	チリメンキャベツ、サボイキャベツ	結球した茎葉を収穫するもの
			はくさい		
			メキャベツ	芽キャベツ、こもちかんらん	結球した腋芽（脇芽）を収穫するもの
			作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。		結球した茎葉を収穫するもの
		セリ科葉菜類	あしたば		茎葉を収穫するもの
			キャラウエイ（葉）	ヒメウイキョウ	
			きんさい	スープセルリー、シャンサイ、中国ゼリ、キンツアイ、ミニホワイト	
			コリアンダー（葉）	香菜、シャンツァイ、パクチー、コエンドロ	
			せり		
			セルリー	ウイキョウゼリ、セルフィーユ	
			チャービル	イノンド、時蘿	
			ディル（葉）		
			とうき（葉）	モスカールドパセリ、イタリアンパセリ	
			パセリ		
			はまぼうふう（葉）		葉を収穫するもの
			フエンネル（葉）	ういきょう、ステイックオ	茎葉を収穫するもの
			ぼたんぼうふう	長命草、サクナ、チョーミーグサ	
			みつば	青みつば、切りみつば、根みつば	

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例	備考(収穫部位等)
野菜類	葉菜類	レタス類	エンダイブ	ニガヂシャ、キクヂシャ	茎葉を収穫するもの
			トレビス	トレビツ	結球した茎葉を収穫するもの
			非結球レタス	かきちしや(サンチュ、チマサンチュ)	葉を収穫するもの
				サラダ菜(バターへッド型レタス、バターへッド型たまぢしや)、立ちちしや、(ロメインレタス、コスレタス)、美味タス(ビミタス)、リーフレタス(葉ちしや、チリメンチシャ、サニーレタス、シルクレタス、フリルレタス、オーカーリーフレタス、バタビアレタス、ロロロッサ)	茎葉を収穫するもの
			プンタレッラ		花茎及び葉を収穫するもの
			レタス	クリスピヘッド型たまちしや	結球した茎葉を収穫するもの
		レタス類以外のきく科葉菜類	カレープラント		茎葉を収穫するもの
			きく(葉)	きく葉	葉を収穫するもの
			こおにたびらこ		茎葉を収穫するもの 春の七草では、ほとけのざといわれているもの
			ごまな		茎葉を収穫するもの
			さわあざみ	まあざみ	葉を収穫するもの
			しゅんぎく	菊菜、ステイックシュンギク	茎葉を収穫するもの
			食用西洋たんぽぽ	食用タンポポ、ダンデライオン	葉を収穫するもの
			すいせんじな	金時草、ハンダマ	茎葉を収穫するもの
			タラゴン	エストラゴン、フレンチタラゴン、ロシアンタラゴン	
			葉ごぼう		比較的若い葉を根とともに収穫するもの
		しそ科葉菜類	ははこぐさ	ごぎょう、おぎょう	茎葉を収穫するもの 春の七草の一種
			ほそばわだん	にがな、ンジヤナ	茎葉を収穫するもの
			もみじがさ	しじけ、モミジクサ、タイコウナ、トウキチナ	
			ヤーコン(茎葉)		
			よぶすまそう	ほんな、ホンナ	
			よめな	はぎな	
			よもぎ		
			えごま(葉)		
			オレガノ	ハナハッカ、ワイルドマジョラム	
			しそ	おおば	
			セージ	コモンセージ、パイナップルセージ、チェリーセージ、レッドセージ	
			タイム	コモンタイム、クリーピングタイム、レモンタイム、カピタートウス(ペルシアン・ヒソップ)、オレンジタイム、ジギス(ソースタイム)	
			バジル	スイートバジル、ダークオペールバジル、メボウキ、ホーリーバジル、レモンバジル	
			はっか	ミント、スペアミント、ペパーミント、アップルミント	
			マジョラム	スイートマージョラム、ポットマジョラム、ゴールデンマジョラム、マヨラナ	
		ヒュ科葉菜類	レモンバーム	セイヨウヤマハッカ	
			ローズマリー	マンネンロウ	
			アマランサス(茎葉)	ハゲイトウ、アオビユ、ホナガイヌビユ、ひゆな	
			おかひじき	クサヒジキ、オカミル、ミルナ	
			ふだんそう	ベトラーブ、あかふだんそう、スイスチャード、デトロイト	葉を収穫するもの
		-	ほうれんそう		茎葉を収穫するもの
			アイスプラント		
		-	あかざかづら	オカワカメ、琉球百葉、雲南百葉	葉を収穫するもの

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、 地方名、品種名等の例	備考 (収穫部位等)
野菜類	葉菜類	—	うこぎ	ウコギ(ヤマウコギ)、ヒメウコギ	茎葉を収穫するもの
		—	えびすぐさ(茎葉)	ロッカクソウ	地上部の全草を収穫するもの
		—	エルバステラ		地上部全草を収穫するもの
		—	エンサイ	エンツアイ、あさがおな、空心菜、通菜、ヨウサイ	茎葉を収穫するもの
		—	おかのり		
		—	おらんだわれもこう	サラダバーネット	葉を収穫するもの
		—	かわらけつめい		地上部全草(茎葉及び豆果)を収穫するもの
		—	かんしょ(茎葉)		茎葉を収穫するもの
		—	きゅうり(葉)		きゅうりの葉を収穫するもの
		—	食用すいば	ソレル、オゼイユ	葉を収穫するもの
		—	食用すべりひゆ		茎葉を収穫するもの
		—	ストリドーロ	シラタマソウ	地上部全草を収穫するもの
		—	つるな	はまな、はまぢしゃ	茎葉を収穫するもの
		—	つるむらさき	シンツルムラサキ	
		—	とうがらし(葉)		葉を収穫するもの
		—	どくだみ		地上部全草を収穫するもの
		—	はこべ	こはこべ、みどりはこべ	茎葉を収穫するもの
		—	はぶそう(茎葉)		地上部全草を収穫するもの
		—	ボリジ	ルリジサ	茎葉及び花を収穫するもの
		—	マーシュ	コーンサラダ、マーシュレタス	茎葉を収穫するもの
		—	モロヘイヤ	タイワンツナゾ、シマツナゾ	
		—	やなぎたで	アユタデ、ほんたで、マタデ	
		—	ゆきのした		葉を収穫するもの
		—	レモングラス	メリッサグラス、レモンガヤ、レモンソウ、フィーバーグラス	茎葉を収穫するもの
		—	レモンバーベナ	コウスイボク	
	茎野菜類	ずいき類	さといも(葉柄)	ずいき、だついも	葉柄を収穫するもの
		—	はすいも(葉柄)		
		—	みずいも(葉柄)	タイモ	
		ふき類	つわぶき		
		—	ふき		
		—	アスパラガス		新芽を収穫するもの
		—	いたどり(芽)		芽を収穫するもの
		—	うど		若い茎葉部を収穫するもの
		—	くきちしや	やまくらげ、トムシャ、ステムレタス	茎及び上部の若い葉を併せて収穫するもの
		—	くさそてつ	こごみ、ガンソク、コゴメ、クグミ、ニワソテツ	葉を収穫するもの
		—	ぜんまい		
		—	フローレンスフェンネル		葉柄の基部の肥大した部分を収穫するもの
		—	ルバーブ	ショクヨウダイオウ	葉柄を収穫するもの
		—	わらび		葉を収穫するもの
食用花	食用花	—	かんぞう(花)	シナカンゾウ、ノカンゾウ、ヤブカンゾウ、黄花菜、金針菜	蕾を収穫するもの
		—	しそ(花穂)		花穂を収穫するもの
		—	しゅんぎく(花)		花を収穫するもの
		—	食用あさがお		花又は蕾を収穫するもの
		—	食用アスター	えぞぎく	花を収穫するもの
		—	食用アリッサム		
		—	食用インパチェンス	アフリカホウセンカ、ニューギニア・インパチェンス	
		—	食用エキザカム		
		—	食用カーネーション		
		—	食用ぎく		
		—	食用金魚草	スナップドラゴン	
		—	食用きんせんか	カレンジュラ	
		—	食用コスモス		
		—	食用シネラリア	フウキギク、サイネリア	
		—	食用ジャメスブリティニア		
		—	食用ストック		
		—	食用せんにちこう	千日紅	
		—	食用トルコギキョウ		
		—	食用トレニア		

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、 地方名、品種名等の例	備考 (収穫部位等)
野菜類	食用花	-	食用ナスタチウム	ノウゼンハレン、キンレン カ	花を収穫するもの
		-	食用なでしこ		
		-	食用バンジー		
		-	食用ヒメヒマワリ		
		-	食用ブリムラ	食用さくらそう	
		-	食用フロックス		
		-	食用ベゴニア		
		-	食用ペチュニア		
		-	食用べにばな(花)		
		-	食用ペンタス		
		-	食用マーガレット		
		-	食用マリーゴールド		
		-	食用ミニバラ	食用バラ	
		-	食用モモイロタンポポ	クレピス	
		-	食用やぐるまぎく		
		-	食用ラベンダー	イングリッシュ・ラベン ダー	茎葉及び花を収穫するもの
		-	食用リナリア		花を収穫するもの
		-	食用ルドベキア	オオハンゴンソウ	
		-	花オクラ		
		-	アーティチョーク	ちょうせんあざみ	花蕾を収穫するもの
		-	あけび(茎葉)	キノメ	茎葉(若芽)を収穫するもの
		-	あまちや		茎葉を収穫するもの
		-	いちご	オランダイチゴ	果実を収穫するもの
		-	いちょう(葉)		葉を収穫するもの
		-	うめ(花)		花を収穫するもの(枝付きを 含む)
		-	オクラ		果実を収穫するもの
		-	オリーブ(葉)		葉を収穫するもの
		-	ガーデンハックルベリー		果実を収穫するもの
		-	かき(葉)		葉を収穫するもの
		-	カモミール	カモマイル、カミツレ、 ジャーマンカモミール、 ローマンカモミール	花を収穫するもの
		-	ぎぼうし	うるい	茎葉を収穫するもの
		-	グアバ(葉)		葉を収穫するもの
		-	くこ(果実)	枸杞子(クコシ)	果実を収穫するもの
		-	くこ(葉)	枸杞葉(クコヨウ)	葉を収穫するもの
		-	くり(葉)		
		-	クレソン	ウォータークレス	茎葉を収穫するもの
		-	くわい		塊茎を収穫するもの
		-	サフラン		めじべを収穫するもの
		-	さんしょう(葉)	木の芽	葉を収穫するもの
		-	じゅんさい		茎葉を収穫するもの
		-	食用アジアンタム		葉を収穫するもの
		-	食用アロエ	キュラソーアロエ、ケープ アロエ	
		-	食用おやまぼくち		茎葉を収穫するもの
		-	食用かえで(葉)		葉を収穫するもの
		-	食用桑(葉)		
		-	食用月桂樹	ローリエ	
		-	食用さくら(葉)	さくら葉	
-	食用さくら(花)		花を収穫するもの(枝付きを 含む)		
-	食用サボテン	ウチワサボテン、ノパール	茎節を収穫するもの		
-	食用べにばな(茎葉)		茎葉を収穫するもの		
-	食用ほおのき(葉)		葉を収穫するもの		
-	たけのこ	マダケ、モウソウチク、ハ チク、ねまがりだけ	若い桿を収穫するもの		
-	たらのき	たらのめ	新芽を収穫するもの		
-	チコリ	キクニガナ	茎葉(軟化させた芽)を収穫 するもの		
-	とちゅう(葉)		葉を収穫するもの		
-	なんてん(葉)				
-	バニラ		果実を収穫するもの		
-	ひきおこし	えんめいそう	地上部全草を収穫するもの		
-	ひし		種子を収穫するもの		
-	びわ(葉)		葉を収穫するもの		
-	ふき(ふきのとう)	ふきのとう	ふきのとうを収穫するもの		
-	ほうきぎ	とんぶり、ほうきぐさ	胞果を収穫するもの		
-	まこもたけ	まこも	マコモクロホ菌の寄生により 肥大したまこもの茎を収穫す るもの		
-	みょうが(茎葉)	みょうがたけ	軟化させた茎葉を収穫するもの		
-	みょうが(花穂)	はなみょうが	花穂を収穫するもの		
-	もも(花)		花を収穫するもの(枝付きを 含む)		
-	やぶかんぞう(茎葉)		茎葉を収穫するもの		

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種名等の例	備考(収穫部位等)
野菜類	—	—	やまのいも（むかご）	ナガイモのむかご、ヤマノイモ（ジネンジョ）のむかご	むかご（肉芽）を収穫するもの
	—	—	ヤングコーン	ベビーコーン	とうもろこしの幼果（雌穂）を収穫するもの
	—	—	れんこん	はす	根茎を収穫するもの 水系で栽培されるもの
	—	—	ローゼル		肥大した萼及び苞を収穫するもの
	—	—	わさび	みずわさび	葉、花茎、根茎及び根を収穫するもの 水系で栽培されるもの
	—	—	わさび（根茎）	みずわさび	根茎を収穫するもの 水系で栽培されるもの
きのこ類	—	—	えのきたけ エリンギ しいたけ なめこ ひらたけ ぶなしめじ まいたけ マッシュルーム	カオリヒラタケ ツクリタケ	子実体（きのこ）を収穫するもの
	—	—	稻※	水稻（移植、直播）、陸稻	種子又は稻わらを収穫するもの
	麦類	—	えんばく※ 大麦※ 小麦※ ライ麦※	オートムギ、エン麦、カラスムギ 二条種、六条種、はだか麦	種子を収穫するもの
		—	アマランサス（種子）	ヒモゲイトウ、センニンコク、スギモリケイトウ、フジゲイトウ、繁穂ヒュ、種粒ヒュ	
		—	キノア		
		—	あわ きび 食用ソルガム※ はとむぎ ひえ	もろこし、たかきび、こうりやん	
	とうもろこし	—	とうもろこし（子実）※ 未成熟とうもろこし	スイートコーン	種子（ある程度成熟した雌穂）を収穫するもの
		—	そば	だったんそば	種子を収穫するもの
—	—	—	えごま（種子）		
—	—	—	えびすぐさ（種子）	ロッカクソウ	
—	—	—	キャラウエイ（果実）	ヒメウイキョウ	果実を収穫するもの
—	—	—	からしな（種子）		種子を収穫するもの
—	—	—	こしょう		果実を収穫するもの
—	—	—	ごま※		種子を収穫するもの
—	—	—	コリアンダー（果実）	コエンドロ	果実を収穫するもの
—	—	—	さとうきび		茎を採糖目的に収穫するもの
—	—	—	しそ（種子）		種子を収穫するもの
—	—	—	食用亜麻		
—	—	—	食用おおばこ（種子）	シャゼンシ	
—	—	—	食用べにばな（種子）		
—	—	—	食用綿実		
—	—	—	茶		新芽を収穫するもの
—	—	—	ディル（種子）		種子を収穫するもの
—	—	—	なたね※		
—	—	—	はぶそう（種子）		
—	—	—	ひまわり（種子）		
—	—	—	フェンネル（種子）	ういきょう（種子）	
—	—	—	ペボカボチャ（種子）		
—	—	—	ホップ	セイヨウカラハナソウ	雌花穂を収穫するもの
飼料作物	牧草	—	いね科牧草	オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、トールフェスク、ペレニアルライグラス、バヒアグラス	家畜飼料用に茎葉を収穫するもの
		—	まめ科牧草	赤クローバー、白クローバー、アルファルファ	
	—	—	飼料用えんばく		
	—	—	飼料用さとうきび		
	飼料用とうもろこし	—	飼料用とうもろこし（青刈り）		家畜飼料用に茎葉を収穫するもの
		—	飼料用とうもろこし（子実）		家畜飼料用に種子を収穫するもの
	—	—	ソルガム	スーダングラス	家畜飼料用に茎葉を収穫するもの

注1)

「小粒種ぶどう」は1粒重量が1.5g程度のぶどうをいい、「大粒種ぶどう」はこれより重いぶどうをいう。

巨峰系4倍体品種ぶどう

巨峰、ピオーネ、安芸クイーン、藤稔、サニールージュ、翠峰、黒王、ゴルビー、紫玉、シナノスマイル、高妻、多摩ゆたか、白峰、紅義、伊豆錦、出雲クイーン、イチキマール、ウエハラ540号、オーロラブラック、オリエンピア、さがみ、ジャスミン、ダークリッジ、高墨、ハイベリー、ハニーブラック、ハニービーナス、ブラックオーパス、ブラックオリンピア、紅伊豆、紅瑞宝、紅富士、紅やまびこ、竜宝、レッドクイーン、ロードベリー、黄玉、天秀等

2倍体米国系品種ぶどう

アジロンダック、マスカットベリーA、バッファロー（アーリースチューベン）、ナイヤガラマラベルファ、ウルバナ、キャンベル、キャンベルアーリー、スチューベン、セイベル9110、セネカ、大玉露、タノレッド、旅路、ナイアガラ、紅金沢、紅塩谷、紅南陽、ポートランド、レッドポート、ピアレス、ニューヨークマスカット、ノースブラック、ノースレッド、バイオレットウエハラ、フレドニア、ヒムロッドシードレス等

2倍体欧州系品種ぶどう

瀬戸ジャイアンツ、ロザキ、マリオ、ロザリオビアンコ、ルビーオクヤマ、マスカットオブアレキサンドリア、シャインマスカット、CG88435、アルフォンスラバレー、イタリア、甲斐乙女、甲斐路、カッタクルガン、カベルネソービニオン、グリーンサマー、クルガンローズ、ケニギンデルワインガルデン、甲州、甲州三尺、ゴールド、ゴールドフインガー、ザバルカンスキー、シトロンネル、シャルドネ、赤嶺、セシリ亞、乍那、チエリー、京早晶、ニューナイ、ネオマート、ネオマスカット、ネヘレスコール、バラディ、ビーナス、ピッテロビアンコ、ブラックスワン、ブラック三尺、フレームトーケー、貝甲干、紅アレキ、紅三尺、紅環、ベニピッテロ、馬乃子、マスカット甲府、マスカットデュークアモーレ、マスカットハンブルグ、マスカットビオレ、マニキュアフィンガー、モルゲンシェーン、ヤトミローザ、ユニコーン、リザマート、リッシバーバ、竜眼、涼玉、ルーベルマスカット、ルビー大久保、レッドグローブ、レッドネヘレスコール、ローヤル、ロザリオロッソ、アリサ、黄華、紫苑、ヒロハンブルグ等

3倍体品種ぶどう

キングデラ、サマーブラック、甲斐美嶺、ナガノパープル、安芸シードレス、美嶺等

注2)

大作物群及び中作物群の豆類（種実）、豆類（未成熟）及びピーマン及びとうがらし類については、これら作物群に含まれるものとして作物名欄に標記されている作物以外のもので、これらの作物群に含まれる作物も含まれる。

(表2)
適用農作物のうち食用又は飼料用に利用されない農作物等

大グループ名	中グループ名	作物名	作物名に含まれる別名、 地方名、品種名等の例	備考 (収穫部位等)
薬用作物		うすばさいしん	さいしん	全草を収穫するもの
		おうぎ	キバナオウギ、ナイモウオウギ	根を収穫するもの
		おうれん		根茎を収穫するもの
		おかげ	オオバナオケラ、ホソバオケラ	根茎を収穫するもの
		げんのしょうこ		全草を収穫するもの
		こがねばな	おうごん	根を収穫するもの
		じおう		根茎を収穫するもの
		しゃくやく (薬用)		根を収穫するもの
		セネガ	ヒロハセネガ	根を収穫するもの
		せんきゅう		根茎を収穫するもの
		せんぶり		全草を収穫するもの
		だいおう	信州大黄	根茎を収穫するもの
		とうき		根茎を収穫するもの
		とうすけぼうふう		根を収穫するもの
		とりかぶと (薬用)		塊根を収穫するもの
		みしまさいこ		根茎を収穫するもの
		薬用アロエ	キュラソーアロエ、ケープアロエ	葉の液汁を利用するもの
		薬用いぐさ	とうしんそう	全草を収穫するもの
		薬用いちい		果実以外の地上部を収穫するもの
		薬用うど		根茎を収穫するもの (軟化茎を除く)
		薬用おもと		根茎を収穫するもの
		薬用カラライナジャスミン		全草を収穫するもの
		薬用ごぼう		果実を収穫するもの
		薬用さわぎきょう		全草を収穫するもの
		薬用すずらん		全草を収穫するもの
		薬用そてつ		種子を収穫するもの
		薬用デンドロビウム	セッコク	茎を収穫するもの
		薬用なんてん		果実を収穫するもの
		薬用ほうせんか		種子を収穫するもの
		薬用ほおづき		根を収穫するもの
		薬用りんどう		根茎を収穫するもの
		薬用ロベリア	ロベリアソウ	全草を収穫するもの
花き類・観葉植物		アイスランドポピー		
		アイビーゼラニウム		
		アイリス		
		アガパンサス		
		アゲラタム		
		あさがお		
		あざみ		
		アジアンタム		
		アジュガ		
		アスター		
		アスチルベ		
		アツツザクラ		
		アナナス		
		アネモネ		
		あま		
		アマゾンリリー		
		アマドコロ		
		アメリカンブルー		
		アリウム		
		アルストロメリア		
		アロエ		
		アンスリウム		
		インパチエンス		
		うつぼかずら		
		エキザカム		
		エレムルス		
		おかめざき		
		オドントグロッサム		
		おみなえし		
		おもと		
		オンシジウム		
		カーネーション		
		ガーベラ		
		花月	フチベニベンケイ、カネノナルキ	
		ガザニア		
		かすみそう		
		カトレア		
		カラー		
		カラジウム		
		カラシコエ		
		カルセオラリア		
		カンガルーボー		

大グループ名	中グループ名	作物名	作物名に含まれる別名、 地方名、品種名等の例	備考 (収穫部位等)
花き類・観葉植物		観賞用アスパラガス		
		観賞用ナス		
		観賞用もうそうちく		
		カンパニユラ		
		ききょう		
		きく		
		金魚草		
		きんせんか		
		グラジオラス		
		クリサンセマム		
		クリスマスローズ		
		クルクマ		
		クレマチス		
		グロキシニア		
		クロッカス		
		グロリオサ		
		けいとう		
		げつとう		
		ゴールデンクラッカー		
		コスモス		
		こちょうらん		
		ゴデチア		
		コリウス		
		コレオプシス		
		さくらそう		
		サボナリア		
		サルビア		
		さわぎきょう		
		サンセベリア		
		サンダーソニア		
		シーマニア		
		シクラメン		
		シネラリア		
		しばざくら		
		しゃくやく		
		しゅうめいぎく		
		宿根アスター		
		宿根かすみそう		
		宿根スターチス		
		しらん		
		シンビジュム		
		すいせん		
		スイトピー		
		すずらん		
		スタークス		
		ストック		
		ストレプトカーパス		
		ストレリチア		
		すなごけ		
		スペティフィラム		
		スピードリオン		
		すみれ		
		ゼラニウム		
		セントポーリア		
		せんにちこう		
		ソリダゴ		
		ソリダスター		
		だいもんじそう		
		たであい		
		たにわたり		
		ダリア		
		チューベローズ		
		チューリップ		
		つる日々草		
		ディサ		
		ディフェンバキア		
		ディモルホセカ		
		デージー		
		デルフィニウム		
		デンドロビウム		
		デンマークカクタス		
		とりかぶと		
		トルコギキョウ		
		トレニア		
		ナスタチウム		
		なでしこ		
		ニーレンベルギア		
		ニゲラ		
		日々草		
		ネモフィラ		
		ノラナ		
		バーべナ		
		はげいとう		
		バコバ		
		はなしょぶ		
		はなとりかぶと		

大グループ名	中グループ名	作物名	作物名に含まれる別名、 地方名、品種名等の例	備考 (収穫部位等)
花き類・観葉植物		花はす はなびしそう はぼたん ばら パンジー バンダ ひおうぎ ヒポエステス ひまわり ひめのぼたん ひめひまわり 百日草 ヒヤシンス フィカス・プミラ 斑入りアマドコロ フィロデンドロン ブータンルリマツリ ブブレウラム ブライダルベール ブラキカム フリージア プリムラ ブルーサルビア ブルースター ^{ブルーデージー} ブルーレースフラワー フロックス プロワリア ベゴニア ペチュニア ヘデラ ベニバナ ベビーローズ ペラルゴニウム ヘリクリサム ヘルコニア ペロニカ ほうせんか ほおづき ポーチュラカ ぼたん ポトス ホワイトレースフラワー マーガレット まつばぼたん マトリカリア マリーゴールド ミムラス みやこわすれ ミルトニア ムスカリ モンステラ やぐるまぎく ゆうぜんぎく ユーフォルビア・フルゲンス ゆり ユリオオズデージー ラークスパー ライスフラワー ラナンキュラス ラバテラ ラベンダー ^{アトランティック} リアトリス リシマキア リムナンテス りんどう ルドベキア ルピナス レザーファン レッドジンジャー れんげ ローレンティア ロケア ロベリア わすれなぐさ わた われもこう		
樹木類	かし類	あかがし あらかし うばめがし うらじろがし しらかし		
	しい類	すだじい つぶらじい	いたじい、しい こじい、しい	
	つつじ類	アザレア おおむらさき		

大グループ名	中グループ名	作物名	作物名に含まれる別名、 地方名、品種名等の例	備考 (収穫部位等)
樹木類	つつじ類	くるめつつじ		
		さつき		
		しゃくなげ		
	つばき類	さざんか		
		とうつばき		
		やぶつばき		
		ゆきつばき		
	なら類	あべまき		
		かしわ		
		くぬぎ		
		こなら		
		みずなら		
	びゃくしん類	かいづかいぶき		
		はいびゃくしん		
	まつ類	あかまつ		
		くろまつ		
		ごようまつ		
		だいおうしよう	だいおうまつ	
	ヤシ類	アレカヤシ		
		かんのんちく		
		ケンチャヤシ		
		シュロ	ワジュロ	
		シュロチク		
		テーブルヤシ		
		ナツメヤシ		
		フェニックス・ロベレニー	シンノウヤシ	
		あおき		
		アカシア		
	いちじく類	あじさい	ハイドランジア	
		アッサムニオイザクラ		
		アフェランドラ		
		アベリア		
		アラレア		
		いちい		
		いちょう		
		いぬつけ	まめつけ	
		いぬまき		
		うめもどき		
		うるし		
		えぞまつ		
		エリカ		
		おうごんくじやくひば		
		かえで	いたやかえで、いろはもみじ、おおもみじ、とうかえで	
		かくれみの		
		ガジュマル		
		かなめもち		
		かばのき	かば、かんば、しらかんば、だけかんば	
		からまつ		
		カラライナジャスミン		
		きり		
		きづた		
		きんぼうじゅ		
		くちなし		
		クロサンドラ		
		クロトン		
		げつきつ		
		げつけいじゅ		
		けやき		
		こうぞ		
		こうやまき		
		ゴールドクロレスト		
		こでまり		
		コトネアスター		
		ゴムノキ		
		コルディリネ		
		コンロンカ		
		さかき		
		さくら		
		さるすべり		
		さんごじゅ		
		さんごみずき		
		さんざし		
		さんしゅゆ		
		さんたんか		
		シェフレラ		
		しきみ		
		ジャカランド		
		ジャスマミナム・ポリアンサ		
		しゃりんばい		
		じんちょうげ		
		すぎ		
		せいよういわなんてん		
		せいようばくちのき		

大グループ名	中グループ名	作物名	作物名に含まれる別名、 地方名、品種名等の例	備考 (収穫部位等)
樹木類		せんりょう		
		そてつ		
		ちようせんまき		
		つげ		
		デイゴ		
		デュランタ		
		どうだんつつじ		
		とっくりらん		
		とちのき		
		とどまつ		
芝	西洋芝	ドラセナ		
		ななかまど		
		なんてん		
		にしきぎ		
		にれ		
		のうせんかずら		
		のほたん		
		ハイビスカス		
		パキラ		
		はなみずき		
		ひいらぎなんてん		
		ひいらぎもくせい		
		ひさかき		
		ひのき		
		ビブルナム		
		ヒペリカム	おとぎりそう、きんしば い、せいようきんしばい	
		ヒマラヤスギ	ヒマラヤシーダー	
		ふう		
		ブーゲンビリア		
		ぶな		
		ふつきそう		
		ブルディア		
		プラタナス		
		ベンジャミン		
		ポインセチア		
		ホクシャ		
		ぼけ		
		ポプラ		
		ポリシャス		
		ボロニア		
まさき				
までばしい				
まんさく				
マンデビラ				
みずき				
みつまた				
もくせい	きんもくせい、ぎんもくせい			
もくれん				
もちのき				
もっこく				
やなぎ				
やぶさんざし				
ユーカリ				
ゆきやなぎ				
ユッカ				
ゆりのき				
ランタナ				
ルリマツリ				
れんぎょう				
いぐさ				
ケナフ				
しちとうい				
センチピードグラス				
たばこ				
日本芝	日本芝	西洋芝（オーチャードグラス）		
		西洋芝（ケンタッキーブルーグラス）		
		西洋芝（ティフトン）		
		西洋芝（パー ミューダグラス）		
		西洋芝（フェスク）		
		西洋芝（ブルーグラス）		
		西洋芝（ペレニアルライグラス）		
		西洋芝（ベントグラス）		
		西洋芝（ライグラス）		
		日本芝（こうらいしば）		
日本芝（ひめこうらいしば）				
日本芝（のしば）				
	桑			

注 1)

大グループ（薬用作物は専ら医薬品原料に用いられる薬用植物に限る）または中グループについては、これら作物群に含まれるものとして作物名欄に標記されている作物以外のもので、これら作物群に含まれる作物も含まれる。

注 2)

大グループ名「薬用作物」は、表 1 における大作物群「野菜類」の適用のある農薬を使用できる。

2 農薬の使用に伴う危被害の防止

農薬事故は使用者の不注意と保管管理の不備から発生することが多いので、各工程において次の事項を総点検する。

また、住宅地等（学校、保育所、病院、公園、街路樹等を含む）において農薬を使用する場合は、農薬飛散による人畜への危害を防ぐことに努め、農薬散布の前に近隣住民等への周知を行う。特に、近くに学校、保育所、通学路がある場合には、農薬散布時間帯に注意するとともに、危被害防止対策を徹底する。

(1) 防除計画

ア 耕種的、生物的並びに物理的防除方法を積極的に取り入れた防除計画を立てる。

イ 薬剤抵抗性管理に配慮して使用農薬を選択する。

(2) 敷布前

ア 防除機具、防除衣等必要機材が完全に整備できているか点検する。

イ 防除作業者の健康状態やアレルギー等の特異体質に注意する。

ウ 防除予定地周囲の作物、飼育動物、住宅、水路等を点検し、必要に応じて事前に関係者と協議する。

(3) 調剤～散布時

ア 適正な薬液濃度、散布量を確保し、残液の出ないよう調剤する。

イ 敷布作業は、作業形態に見合った防護装備で実施し、農薬の吸入や皮膚への付着等ができるだけ少なく抑えられるよう散布時間、気象条件の変化等に注意し、無理な作業は避ける。

ウ 風のない時間帯に散布を行うなどにより、農薬の飛散を防止する。

エ 住宅地周辺での農薬散布をできるだけ控えるなど、農薬が飛散することを防止する。

オ 作業中は、飲食や喫煙をしない。

カ 誤って農薬が口や眼に入ったときは流水で洗うとともに、身体に異常を感じた場合は、ただちに作業を中止して医師の手当を受ける。

キ 近くに人がいないこと（特に子供が遊んでいないこと）、自動車が止まっていること等を確認するなど、周囲に注意して散布する。

(4) 敷布後

ア 敷布に使用した器具及び容器を洗浄した水は、その農薬散布場に散水するなどして適切に処理し、排水路や河川等に流さない。

イ 敷布後はすみやかに身体を洗うなどして付着農薬を除去し着衣を取り替える。

ウ 農薬散布経過を必ず記録して、以後の防除計画に活用する。

(5) 農薬の保管管理等

ア 農薬は保管庫に収納して常時施錠して保管する。また「農薬保管庫」と表示するほか毒物、劇物農薬を保管する場合は「医薬用外毒物」、「医薬用外劇物」と表示する。毒物、劇物農薬等が万一紛失、又は盗難にあったときは、ただちに警察署・保健所に届け出る。

イ 農薬の空容器、空袋等の処理は、関係法令を遵守し、廃棄物処理業者に処理委託する等により適切に行う。

地域において不用農薬や空容器等の回収事業が実施される場合には、積極的に参加して適正な処理に努め、不用農薬等を長期間保管しないようにする。

(6) その他

ア 特別指導事項をよく読み、農薬使用における危被害防止に努める。

イ 販売禁止農薬は使用せず、適正に処分する。(別表 販売禁止農薬一覧)

(別表) 販売禁止農薬一覧

農薬	用途	登録年	失効年	主な商品名	備考
リンデン	殺虫剤	昭和 24 年	昭和 46 年	B H C	
DDT	殺虫剤	昭和 23 年	昭和 46 年	DDT	
エンドリン	殺虫剤	昭和 29 年	昭和 50 年	エンドリン	
ディルドリン	殺虫剤	昭和 29 年	昭和 50 年	ディルドリン	
アルドリン	殺虫剤	昭和 29 年	昭和 50 年	アルドリン	
クロルデン	殺虫剤	昭和 25 年	昭和 46 年	クロールデン	
ヘプタクロル	殺虫剤	昭和 32 年	昭和 47 年	ヘプタ	
ヘキサクロロベンゼン	殺菌剤	—	—	登録実績なし	
マイレックス	殺虫剤	—	—	登録実績なし	
トキサフェン	殺虫剤	—	—	登録実績なし	
パラチオン	殺虫剤	昭和 27 年	昭和 44 年	ホリドールエチル	急性毒性が強く使用者の事故多発
メチルパラチオン	殺虫剤	昭和 27 年	昭和 44 年	ホリドール	急性毒性が強く使用者の事故多発
TEPP	殺虫剤	昭和 25 年	昭和 44 年	テップ	急性毒性が強く使用者の事故多発
水銀剤	殺菌剤	昭和 23 年	昭和 48 年	セレサン	人体への毒性
砒酸鉛	殺虫剤	昭和 23 年	昭和 53 年	砒酸鉛	作物残留性
2,4,5-T	除草剤	昭和 39 年	昭和 50 年	ウィードン 2,4,5-T	催奇形性等の疑い
CNP	除草剤	昭和 40 年	平成 8 年	MO	ダイオキシン含有
PCP	除草剤 殺菌剤	昭和 29 年	平成 2 年	アビトン	ダイオキシン含有
PCNB	殺菌剤	昭和 31 年	平成 12 年	PCNB	ダイオキシン含有
ダイホルタン	殺菌剤	昭和 39 年	平成元年	ダイホルタン	食品規格で AD I 設定不可 (発ガン性の疑い)
水酸化トリシクロヘキシルスズ	殺虫剤	昭和 47 年	昭和 62 年	プリクトラン	食品規格で AD I 設定不可 (催奇形性の疑い)
ケルセン	殺虫剤	昭和 31 年	平成 16 年	ケルセン	第 1 種特定化学物質
ペンタクロロベンゼン	農薬製造時の副生成物	—	—	登録実績なし	
アルファー-ヘキサクロロシクロヘキサン	リンデンの副生成物	—	—	登録実績なし	
ベータ-ヘキサクロロシクロヘキサン		—	—	登録実績なし	
クロルデコン	殺虫剤	—	—	登録実績なし	
ベンゾエピン	殺虫剤	昭和 35 年	平成 22 年	マリックス	
メトキシクロル	殺虫剤	昭和 25 年	昭和 35 年		

注 1) 平成 15 年 3 月 5 日農林水産省令第 11 号 (改正 : 令和 6 年 12 月 2 日 農林水産省令第 62 号)

2) 農薬取締法第 18 条に基づく販売禁止農薬は、同法第 24 条により使用を禁止されている。

- ウ 種苗業者にあっては、食用及び飼料の用に供される農作物等（果樹を除く）の種苗であって、農薬を使用したものについては、農薬を使用した旨及び使用した農薬の有効成分の種類と種類毎の使用回数を記載する（詳細は、種苗法を確認）。
- エ 作物群（野菜類や果樹類等）での登録農薬の場合、事前に薬害がないか確認して使用する。マシン油乳剤や石灰硫黃合剤は、商品ごとに登録内容が異なるのでラベルを確認する。

3 ポジティブリスト制度について

(1) ポジティブリスト制度とは

平成15年5月に改正された食品衛生法により、今まで残留農薬基準が設定されていなかった食品（農産物）にも、基準値が設定され、全ての農薬、飼料添加物、動物用医薬品について、基準値を超える食品の流通を禁止する制度。

(2) 農薬を使用するにあたって留意しなければならない事項

- ・農薬の使用基準を遵守する。
- ・隣接ほ場へ農薬が飛散しないようにする。
- ・特に、収穫間近の農作物へ農薬が飛散するがないようにする。
- ・農薬散布器具に残った農薬残液が次の散布時に混入してしまい、自身の農産物又は隣接ほ場の農産物が残留農薬基準違反となる事例があるので、注意する。

(3) 具体的な対策

＜農薬の飛散を防止するためには、一つの技術、対策だけでなく、いくつかの技術、対策を組み合わせて飛散を防止することが重要である＞

【農薬の飛散を防止する対策】

- ・農薬の散布は、風のない時に行う。
- ・農薬散布器具のノズルは、飛散を低減するタイプに交換する。
- ・農薬を散布する方向に注意し、作物のない方向のノズルは閉じる。
- ・散布器具の圧力、風量等は適正なものとし、上げすぎない。
- ・ほ場の周辺に防薬ネットを張り、農薬の飛散を防止する。
- ・隣接ほ場との間に、障壁となる植物（ソルゴーなど）を配置して、物理的に飛散を防止する。

【その他の対策】

- ・農薬散布器具は、散布後に十分に洗浄し、薬液が器具内、ホース内等に残ることが無いようにする。
- ・農薬使用後は防除日誌を記録し、保管する。（[防除日誌の参考様式] 参照）
- ・農薬に頼らない防除方法を積極的に取り入れる。
- ・隣接ほ場の園主と連絡を取り合い、いつ農薬を散布するか、いつ収穫になるのかなどの情報を交換する。
- ・散布する農薬の選定（出来るだけ隣接する作物に共通して登録のある農薬を使用する）や、万が一農薬の飛散が発生した場合には、農業農村支援センターやJAなどへ相談し、指導を受ける。

〔防除日誌の参考様式〕

作目（　　） 播種・定植日（　月　日）、収穫日（　月　日～　月　日）

薬剤名	対象病害虫名	希釈倍数	散布量	散布面積	散布日
○×水和剤	○○病	△△△倍	××ℓ	□□a	○月□日 ○月○日
△△乳剤	△△△ムシ	△△倍	△△ℓ	△△a	△月□日 △月○日

4 短期暴露評価導入による農薬の使用方法の変更について

(1) 短期暴露評価の導入の経緯

これまで農薬の登録に当たっては、その薬剤に適用のある全ての農作物について、一生涯にわたって様々な食品を食べて農薬を摂取したとしても健康に影響が生じないかどうかの指標である一日摂取許容量 (ADI) に基づく長期暴露評価により使用方法が定められてきた。

平成 26 年 3 月 18 日に、厚生労働省農薬・動物用医療品部会より「急性参考用量 (ARfD : acute reference dose) を考慮した残留農薬基準の設定について」が示され、これまでの ADI に加え、一度（24 時間以内）に大量に摂取しても健康に影響を与えないとされる急性参考用量に基づく短期暴露評価が、残留農薬基準値の設定に反映されることとなった。

(2) 残留農薬基準値超過の可能性

短期暴露評価の導入により、農薬の「使用方法の変更」や「適用農作物の削除」、「残留基準値の引下げ」といった影響が生じることもあり、栽培期間中に農薬の使用方法の変更や残留基準値の引下げまでが非常に短期間で行われることも想定され、この場合、有効期限内の農薬を使用基準変更前の表示ラベルどおりの方法で使用すると、残留農薬基準値を超過する恐れがある。

(3) 生産現場の混乱を防ぐための取組

農林水産省では、農薬製造者に対して、自ら短期暴露評価を実施し、登録を受けている農薬の使用方法を変更する必要性を確認した上で、

- 1 速やかに農薬の使用方法等の変更登録申請を行うこと。
 - 2 農薬販売者、使用者等に対して注意喚起又は情報提供を行うこと。
- を要請しており、情報は農林水産省より県に提供される。

(4) 農薬使用者等の対応

情報提供がなされた場合には、残留農薬基準値の引下げまでの緊急度に応じて、農業試験場病害虫防除部及び農業農村支援センター、JAに、使用者等に対し以下のとおり指導するよう依頼している。

1 残留農薬基準値の改定までに十分な時間的猶予が無い場合

変更登録を受ける前であっても、農薬製造者が作成したチラシ等で周知された登録変更後の使用方法に基づき、農薬使用者への情報提供や指導を直ちに行う。

2 残留農薬基準値の改定までに十分な時間的猶予がある場合

次回の防除暦等の改定に当たり、登録変更内容を反映する。防除暦改定後には、変更後の使用方法により農薬を使用するよう指導する。

農薬使用者にあっては、既に使用している農薬であっても、短期暴露評価による使用方法の変更があった場合には、表示ラベルに記載された使用方法ではなく、新しい登録内容により使用すること。

なお、登録変更に伴う防除基準（冊子版）の内容変更については、次の URL 又は最寄りの農業農村支援センターに問い合わせて確認すること。

農業試験場病害虫防除部ホームページ

<http://www.pref.nagano.lg.jp/bojo/index.html>

(農業試験場病害虫防除部 > サイトマップ > 農薬関係情報→「令和8年長野県病害虫・雑草防除基準登録内容変更一覧」)

(5) これまでに変更された防除基準の掲載農薬

令和7年11月30日現在 該当なし

※令和7年11月30日以降に変更された農薬や、防除基準に掲載されていない農薬については、上記以外も変更登録がされている場合があるので、農林水産省農薬登録情報提供システム（<https://pesticide.maff.go.jp/>）等で最新の情報を確認すること。

※変更登録後、一定期間が経過したものについては、上記一覧表から削除している。ここでの一定期間とは、変更登録前の登録内容が記載された製品の最終有効年月（おおむね3年）が経過するまでの期間を指す。